



年次報告 2016



一般社団法人
痴漢抑止活動センター

目次

- 活動に対する思い
- ご挨拶
- 私たちが目指す社会
- 事業報告
 - 痴漢抑止バッジデザインコンテスト2016
 - 防犯キャンペーン
 - 啓発・啓蒙活動
 - バッジ販売
- 会計報告
- 活動を広げるために

100年続く電車内痴漢犯罪から子どもを守るのは、
私たち、大人の責任です

ご挨拶

当団体の活動に共感とご協力をありがとうございます。

痴漢抑止バッジの原案は、都内在住の女子高校生（当時16歳）が、自身の経験から作ったカードです。彼女は4ヶ月間、登下校に使用して、その効果を確認しました。2015年8月に、考案者の母が娘の痴漢被害とその対策をSNSに投稿したのがきっかけとなり、本プロジェクトが発足しました。

この小さなツールを同じように痴漢被害にあっている女子高校生らに届けたいと考え、女子高校生がつけやすいデザインの缶バッジにリニューアルを検討しました。

バッジ制作費の調達するため、同年11月にクラウドファンディングを開始。3ヶ月で334名の方から212万3千円のご支援をいただきました。デザインは、クラウドソーシングで公募。178名から414点が集まりました。



どちらにも切実なメッセージが寄せられており、活動を継続する必要性を痛感し、社団法人を立ち上げたのが2016年1月です。

2016年度は、学生を対象とした「痴漢抑止バッジデザインコンテスト2016」を軸として、活動を展開してまいりました。バッジをお取り扱いくださる店舗様、防犯キャンペーンに採用くださる警察・防犯協会もありました。

社会貢献活動もビジネスの経験もない私たちが、初年度に成果を残すことができたのは、「子ども達を痴漢犯罪から守りたい」という多くの声に支えられていたからです。皆様のご厚意に心から感謝いたします。

「痴漢抑止バッジ」を通じて、社会の性犯罪に対する意識を変え、子ども達を性犯罪から守りたい。そのための活動を真摯に続けてまいります。

今後も、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

一般社団法人痴漢抑止活動センター

代表理事 松永弥生

活動概要図

個人、企業、警察、電鉄会社が手を取り痴漢問題を解決！



個人、企業、警察、電鉄会社が手を取り痴漢問題を解決！

100年続く電車内痴漢犯罪を解決するためには、社会が一体となって、性犯罪に対する意識を変え
る必要があると私たちは考えています。

電車内痴漢犯罪で被害に遭っているのは、10～20代の女性が73.2%を占めています。通勤・通学時
間帯に多数発生していることから、多くの女子高生が被害にあっていることがわかります。加害者は、
社会経験が少ない子どもを狙っているのです。

電車内痴漢犯罪は、大人が子どもに対して、公共の場で行っている性的虐待です。

そこには、一般にイメージされている“性欲解消”とは違う、歪んだ支配欲・征服欲を発露としたス
トレス発散目的が見受けられます。

電車内の痴漢犯罪は、周囲に人がいるにも関わらず日常的に行われている性犯罪という点が、特異
です。ここには、加害者と被害者だけではなく、「犯罪に気づけない大人」「気づいてもどうしてい
いかわからない大人」「見て見ぬ振りをしてしまう大人」が存在します。

被害にあっている子どもに「勇気を出して、声出して」と要求するのではなく、「痴漢犯罪を許さ
ない」意識を個人が持ち、学校、企業、警察、電鉄会社と一緒に社会の意識を変えていく必要があり
ます。

痴漢犯罪を「加害者と被害者の問題」と捉えていては、解決の道は見つかりません。

デザインを学ぶ学生に痴漢抑止バッジデザインコンテストに参加してもらい、デザインを検討する
中、痴漢犯罪に問題意識を持ってもらうことを狙いにしています。学生から、父兄・友人に問題意識
が波及することでしょう。

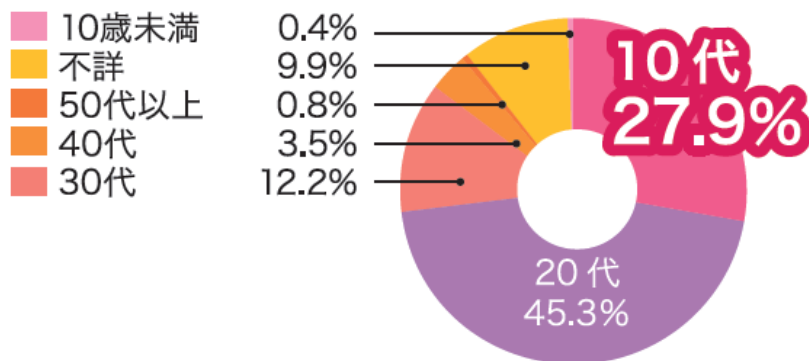
バッジを駅チカ・駅ナカのコンビニで販売し、被害にあっている女性を勇気づけると同時に、加害
者に対して、痴漢犯罪に厳しい社会になっている

■参考資料

下記のグラフから、登下校の時間帯に駅構内・電車内において、10～20代の女性が、痴漢被害にあっていることがわかります。

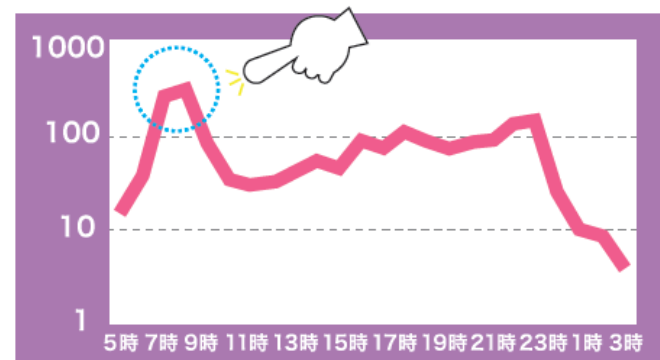
(出典:警視庁「こんな時間、場所が狙われる(2016年3月31日より)」)

年齢別被害状況

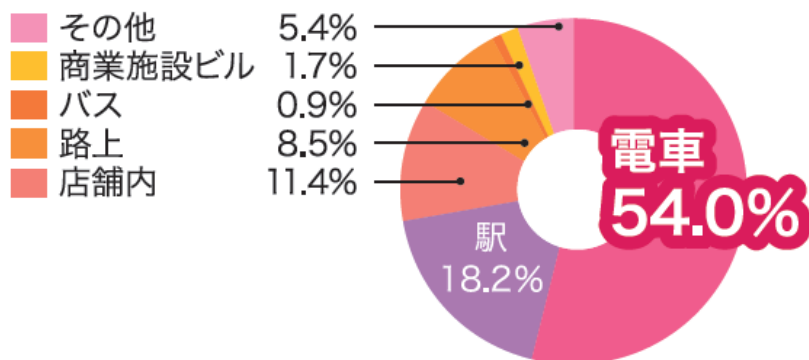


時間別発生状況

痴漢は、午前7時から午前9時の通勤通学時間帯に約30%が集中して発生しています。



場所別発生状況



1) 学生のデザイン

被害者に受け入れられるツール作成

2) 流通の力

「痴漢抑止バッジ」を普及

3) 教育の力

社会の意識を変える

事業報告

痴漢抑止バッジ デザインコンテスト2016

痴漢抑止バッジデザインコンテスト2016

学生対象のデザインコンテスト、79作品の応募

募集期間：2016年8月1日～9月20日

最優秀賞(賞金5万円)

桑沢デザイン研究所 ビジュアルデザインコース
神崎 遥さん

誰にも見つけられない・被害者は悲鳴をあげないだろうと
思っている犯人に対して、しっかりと声をあげ、犯罪・犯
人を許さない強い意志を女子高校生も持っているというこ
とを表現しています。バッジを付けづらいと、この運動の
意味がないと思いましたので、シンプルに可愛らしく、で
も一度見たら忘れないインパクトのあるイラストを描きま
した。



優秀賞(賞金2万円)：東京理科大学 アユミさん ●○○○

優秀賞(賞金2万円)：大阪芸術大学付属大阪美術専門学校 アート学科コミックイラスト専攻 渡辺麻衣さん ○●○○

審査員特別賞「たか子賞」(賞金1万円)：愛知県立芸術大学 デザイン専攻 sosoraさん(右中) ○○●○

審査員特別賞「タケルノミコト賞」(賞金1万円)：岡山県立大学 デザイン学部造形デザイン学科 ホノカさん ○○○●



1次審査 高校生のアンケートで12作品選出



芦屋学園高等学校



松蔭女子学院

女子高校生、男子高校生に79作品の中から、好きな作品に投票してもらいました。

投票は、1人5ポイントを持ち、1位:3pt、2位:2pt、3位:1ptを入れる形式をとりました。

投票結果を参照し、審査委員会が12作品を選出いたしました。

2次審査 近鉄百貨店 あべのハルカス 5階 縁活ウォールギャラリー



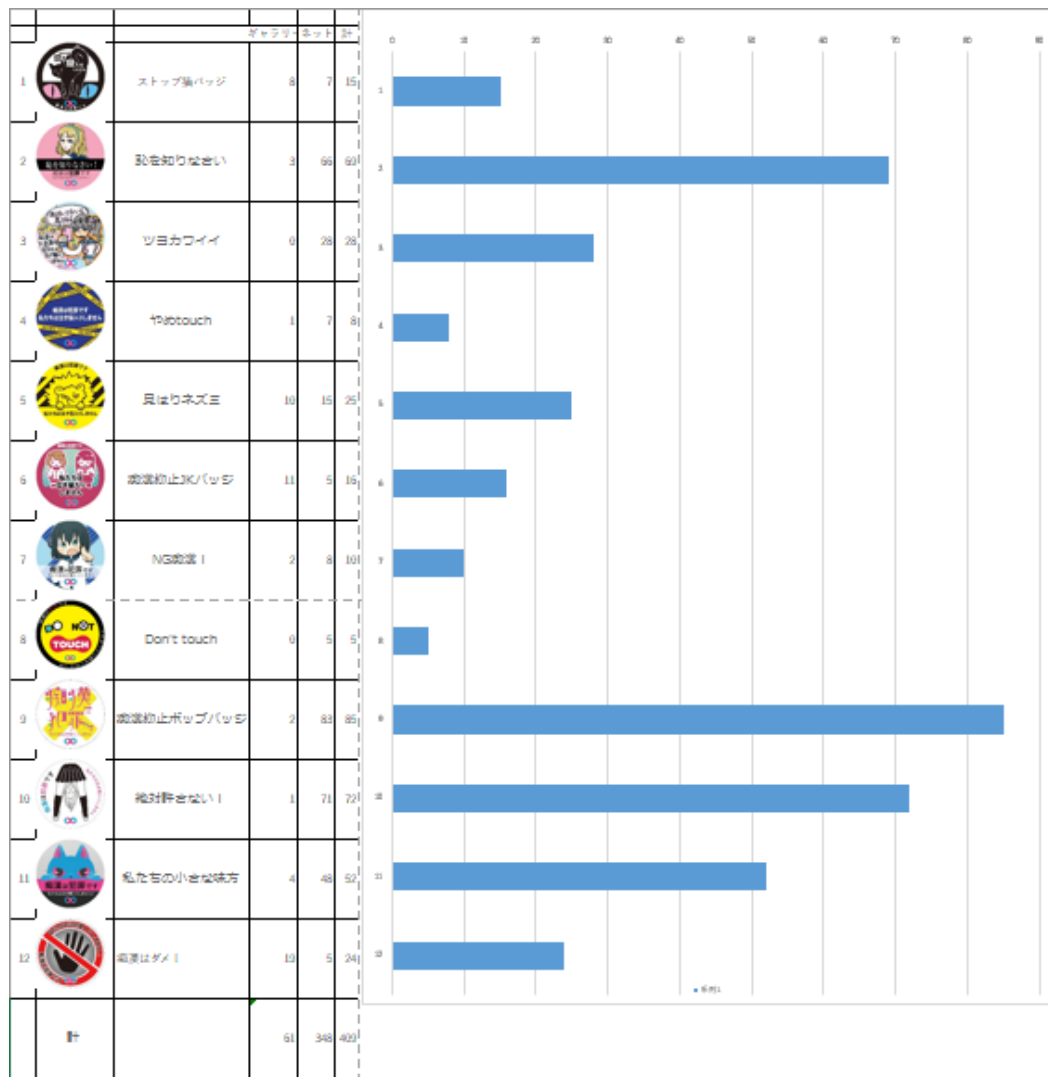
開催日：2016年10月5日～24日

会場：近鉄百貨店 あべのハルカス 縁活ウォールギャラリー

少女たちが痴漢被害にあっている現実を、知っていただくために多くの方が買い物を楽しむ百貨店内にあるウォールギャラリーで、2次審査を実施いたしました。

会場にポストを設置しバッジを選んでいただきました。

投票結果



ギャラリーとネットで同時に人気投票を実施しました。

ネット投票と合わせて409の投票がありました。

表彰式・大阪府鉄道警察隊 防犯教室



2016年11月3日(@・祝)あべのハルカス 8階 縁活ステージにて実施

痴漢抑止防犯キャンペーン

自主開催:クラウドファンディング達成 無料配布イベント



2016年3月25日 渋谷駅前 494(抑止)個を配布



2016年3月28日 阪急梅田駅周辺 494(抑止)個を配布

兵庫県警察 防犯キャンペーン

2016年3月28日兵庫県警 × 阪急電鉄 防犯キャンペーン(三宮・西宮北口)



協力：
松陰高等学校
神戸山手女子高校
芦屋学園高等学校
武庫川女子大学附属高等学校



神奈川県海老名市防犯キャンペーン



2016年4月1日 神奈川県海老名市 1000個を配布
地元のゆるキャラ「えび～にゃ」の痴漢抑止バッジ(ライセンス契約)

警察防犯キャンペーン(採用実績)



2万 DL 突破！記念フェア **限定**
ブログが書ける魔法のテン

東北ニュース

全国・海外ニュース

スポーツ

震災・防災

トップ > 東北ニュース > 記事

宮城のニュース

宮城 社会

ツイート

シェア

痴漢防止へ「立ち上かれJK!」

◇…「立ち上かれJK（女子高生）!」「私たちは泣き寝入りしません」。電車内の痴漢抑止に向け、岩沼署などは女子高生を奮い立たせるバッジを作り、JR岩沼駅前で配った。

◇…バッジは4種類。いずれも女子高生が好みそうなポップなデザインが施されている。痴漢は女性の背後から近づくため、後ろに付けるよう勧める。

◇…配布を手伝った名取高（岩沼市）の女子生徒にもバッジは好評。「みんなが着ければ『やめて』と言う勇気が出る」と、立ち上がる気満々だ。（岩沼）



拡大写真

関連ページ: [宮城](#) [社会](#)

2016年10月25日火曜日

ツイート

シェア

秋の防犯キャンペーン

・宮城県 岩沼署

・新潟県 西警察署

啓発・啓蒙活動

■ 2016年1月25日 東京 一個人がクラウドで社会を動かす



■ 2016年2月5日 埼玉県鉄道痴漢犯罪防止連絡協議会女性会議

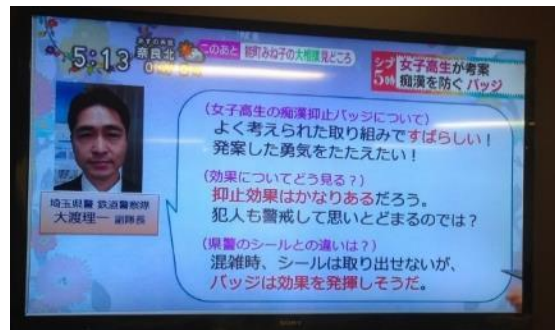


埼玉県鉄道警察隊は、電車内痴漢犯罪を防ぐために、鉄道会社・駅ビルなど商業施設・高校などと連携して10年前から開催している会議に出席しました。

痴漢犯罪は、さまざまな要因が複雑に絡み合っているので、横のつながりで協力しあって対策を練っているそうです。2016年度は、埼玉県だけではなく、新潟県警や群馬県警からも出席者がおり、各地の取り組みを発表。情報の共有をされていました。

当日は、警察や鉄道警察、JR、私鉄、バス会社、商業施設、高校などから64名が出席。私達も、10分のお時間をいただき、プロジェクト発足のきっかけやクラウドファンディングやデザインコンテストに寄せられた皆様の声を伝え、今後の活動方針について報告いたしました。

短い時間でしたが、「多くの方が、痴漢問題解決に関心を持っている」「被害にあって泣き寝入りしてしまう人がある」「何もできなかった自分をいつまでも責めている」……。そんな状況の一端でも伝えられるようにと、努めました。



会議出席のきっかけは、クラウドファンディングがNHKのシブ5時で取り上げられた際、埼玉県警 鉄道警察隊の痴漢抑止バッジへのコメントをいただきました。鉄道警察隊内部で意見を交わしたところ

- ・抑止効果がありそう。
- ・冤罪を生まない点が良い
- ・痴漢にあった被害者が考案したのがいい

と言った意見があったそうです。

この縁で、会議に出席のお声がけをいただきました。

2016年2月23日 大阪 性暴力を許さない女の会

性暴力を許さない女の会

2月
公開講座

いつだって 誰だって 痴漢のいない電車に乗りたい！ 25年間で痴漢をとりまく問題は変わったのか？

性暴力を許さない女の会 × Stop痴漢バッジプロジェクト

Stop痴漢バッジプロジェクトをご存知ですか？

高校に入学して電車通学するようになって以来、毎日のように痴漢被害に遭い続けたある女子高生が「もう被害に遭いたくない！」と考え、「痴漢は犯罪です。私は泣き寝入りしません」と書いたカードを鞆につけたところ、痴漢被害がピタッと止まりました。その経緯を聞いた彼女の母親の友人である松永弥生さんが、缶バッジにすることを提案。もっとたくさんの人たちに痴漢被害の問題を考えてもらいたいとインターネット上で「Stop痴漢バッジプロジェクト」を始めました。

私たち性暴力を許さない女の会が発足したのは、地下鉄御堂筋線で痴漢を注意した女性が報復に強かんされるという事件がきっかけでした。発足5年後には痴漢被害の実態を知ろうとアンケートを集め、報告集を出しました。それから20年、電車の中や駅には「痴漢は犯罪です」というポスターが貼られるようになったものの、依然として多くの女性が被害に遭い続けており、被害者を責める風潮はあまり変わっていないように思われます。

今回の講座では松永弥生さんをお招きしてプロジェクトのお話を聞き、性暴力を許さない女の会のこれまでの取り組みもふり返り、痴漢を巡る状況について対談します。被害者を責めたり孤立させたりするのではなく痴漢行為（＝性暴力）を許さない社会にするために、一緒に考えましょう。

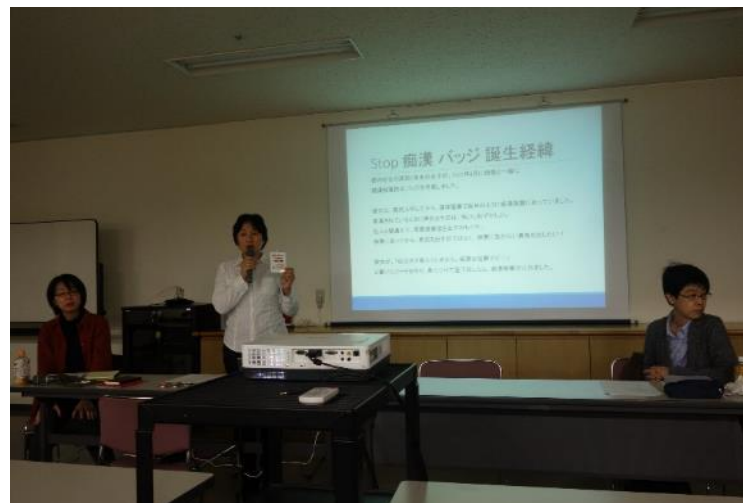


- 日時 2016年2月23日（火）
18時30分～21時
- 場所 ドーンセンター・4F大会議室3
（大阪府男女共同参画・青少年センター）
- 講師 松永弥生さん
（一般社団法人 痴漢抑止活動センター 代表）
- 会費 1000円
※維持会員の方は無料です。

参加は
女性のみ

お問い合わせ

性暴力を許さない女の会
大阪市東淀川郵便局私書箱15号
TEL 06-6322-2313（毎週火曜日 夜7～9時のみ）



■ 2016年6月19日 TED x WakayamaUniversity



■2016年11月25 福岡県 男女共同参画フォーラム2016

あすばる男女共同参画フォーラム2016



Stop痴漢バッジプロジェクト

通学電車で痴漢にあった17歳の少女の切実な思いから、痴漢抑止バッジは誕生しました。被害者が孤立しない、誰にとっても安心・安全な電車空間作りを、一緒に考えてみませんか。2016年3月からは兵庫県警や神奈川県警などで痴漢撲滅キャンペーンで採用されています。（講演会当日もバッジの販売をします。）

講師：松永やよいさん

考案した少女の母の友人。缶バッジにすることを提案し、「Stop痴漢バッジプロジェクト」をスタートさせる。電子書籍出版コンサルタント、文章講座の講師、フリーライター。大阪市在住。





11月25日（金） 18:00~20:00

会 場：クローバープラザ 5階 501研修室
（春日市原町3丁目1番地の7）

対象者：関心のある方どなたでも

定 員：50名

参加費：無料

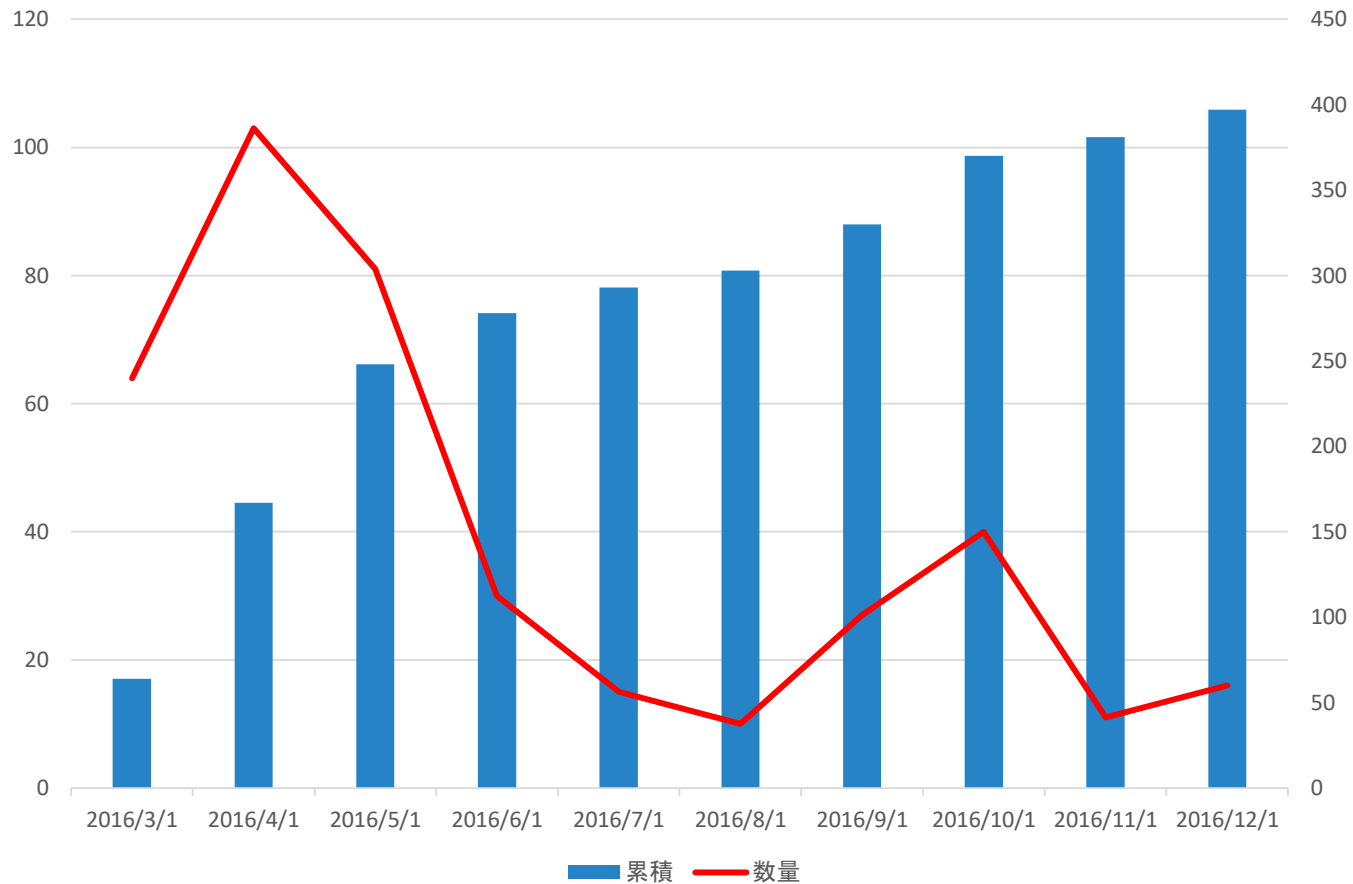
託 児：福岡県男女共同参画センターあすばるのホームページよりお申し込みください

お申込み・お問い合わせ
 特定非営利活動法人 博多ウィメンズカウンセリング
 電話：092-210-0058
 E-mail：hwc21kouza@yahoo.co.jp
 URL：<http://www.npo-hwc.com/>



痴漢抑止バッジ販売

2016年度 痴漢抑止バッジ ネット販売数



2016年3月25日よりネット通販を開始しました。メディアに取り上げられた直後に購入数が増えるため、一概には言えませんが、痴漢犯罪が増える時期と購入者数は連動していると考えられます。今後も、データを取っていきたいです。

痴漢抑止バッジ販売



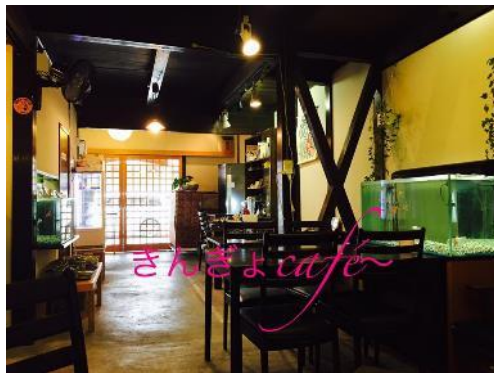
ネット通販では、当事者である女子高生が購入しづらいため、店販を目指しました。

2016年10月より、

イトーヨーカドー 津久野店で販売。

ファミリー層が買い物をする店舗に痴漢抑止バッジがあることで、親子で痴漢問題について話題にするきっかけにもなります。

イベント、カフェでの販売



私たちの活動に共感してくださる方が、カフェやイベント会場で痴漢抑止バッジを販売してくださっています。



痴漢抑止バッジ販売(2017年2月～)



イオン 関西10店舗

- イオン野田阪神店
- イオン堺北花田
- イオンスタイル堺鉄砲町
- イオン大阪ドームシティ
- イオン枚方店
- イオンスタイル伊丹
- イオン大日
- イオンスタイル茨木
- イオン南千里店
- イオン喜連瓜破駅前店



■財務報告

(1) 収入		2,610,417
バッジ売上	443,342	
講演会売上高	5,000	
協賛金収入	2,120,000	
その他売上高	42,075	

(2) 支出		3,199,084
広告宣伝費	1,068,505	コンテスト開催, 外注費, 印刷費
事務所管理費	671,076	事務用消耗品費, 管理費, 備品・消耗品費, 通信交通費
活動費	653,405	旅費交通費, 会議費, 接待交際費, 配送配達費
その他	806,098	雑費, 租税公課, 教育訓練費, 厚生費, その他の販売費

当期収支差額	-588,667
--------	-----------------

次期繰越正味財産額	-588,667
-----------	-----------------

2015年11月にプロジェクトが正式にスタートし、2016年1月に一般社団法人を設立した。2016年度はクラウドファンディングでご支援いただいた資金をベースにして、活動を実施した。結果として赤字となった。

収入は、痴漢抑止バッジのネット販売、警察や防犯協会への販売だが、まだ認知度が低く堅調とはいいがたい。

支出は、痴漢抑止バッジデザインコンテスト開催費の負担が予想以上に大きかった。しかし、コンテストを実施したおかげで、活動の柱が明確となり、今後の継続目標や当団体のミッションを明示できるようになった。

次期(2017年度)に向けては、スタッフ人件費の確保、および単年度収支を黒字かすることを第一の目標とする。

2016年度に参加した商談会で、大手スーパーや電鉄系コンビニエンスストアのバイヤーと商談ができた。痴漢抑止バッジは駅ナカ・駅チカ店舗での販売が適した商品である。引き続き販路拡大に努め普及に力を注ぐ。

痴漢抑止バッジデザインコンテストは10年間の継続を目指し、協賛企業を募りつつ、参加者の拡大を目指す。2017年度は、コンテストポータルサイト「登竜門」を運営する株式会社JDNのサポートを受けられるため、基盤作りの1年とする。

また運営管理費を補うため、パートナー企業や個人の方々からの寄付を募るシステムを整えていく所存である。

第一段階「自走」：2019年（2年後）

関係団体への痴漢抑止バッチー括納入により、
組織維持費とコンテスト実施費用を賄うことを目指します

想定顧客：自治体、教育委員会、学校法人、鉄道会社など

戦略：

関係省庁、団体などの後援を取り付ける

社会的影響力を持つ賞を受賞

並行して、想定顧客へ来期の予算化の営業活動

第二段階「拡大」：2022年（5年後）

別注（ご当地、学校専用、服飾雑貨コラボなど）事業の離陸

その収益により、シンポジウム、展示イベントなどを開催、複合的な手段により目的達成を目指す

最終段階「目的達成」：2025年（8年後、活動開始から10年）

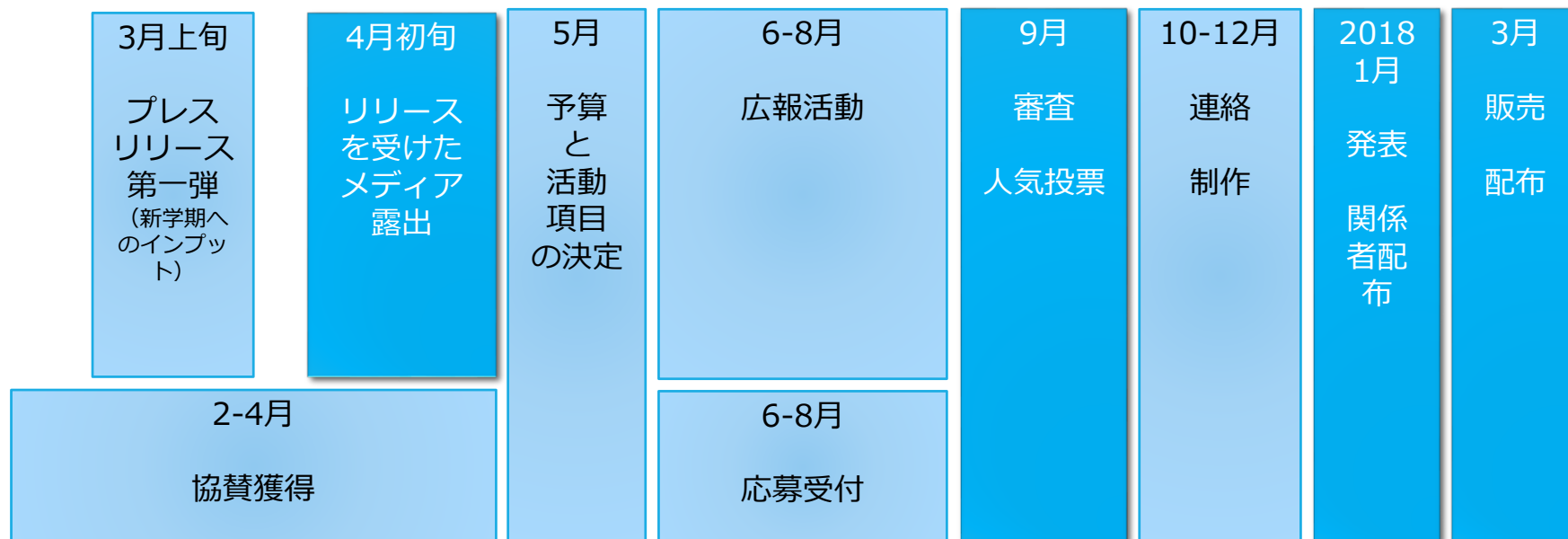
社会の意識が変容し、バッチをつけなくても車内の痴漢犯罪がなくなる

狙い：社会的インパクトの最大化

課題：持続可能な仕組みの基礎を構築

スケジュールの考え方：

新学期、夏休み明け、年末年始の被害増加（社会的な関心の増加）時期の情報発信
まず協賛を募り、妥当な予算計画により活動内容を検討



プロジェクト 連絡先

【団体名】 一般社団法人痴漢抑止活動センター

【HP】 <http://scb.jpn.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbproject/>

【Twitter】 https://twitter.com/scb_info

【Blog】 <http://scb.jpn.org/>

【e-mail】 info_scb@scb.jpn.org

【バッジ考案】 殿岡万里（保護者）

【プロジェクト代表者】 松永弥生

住所：〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

電話：06-7898-7808

